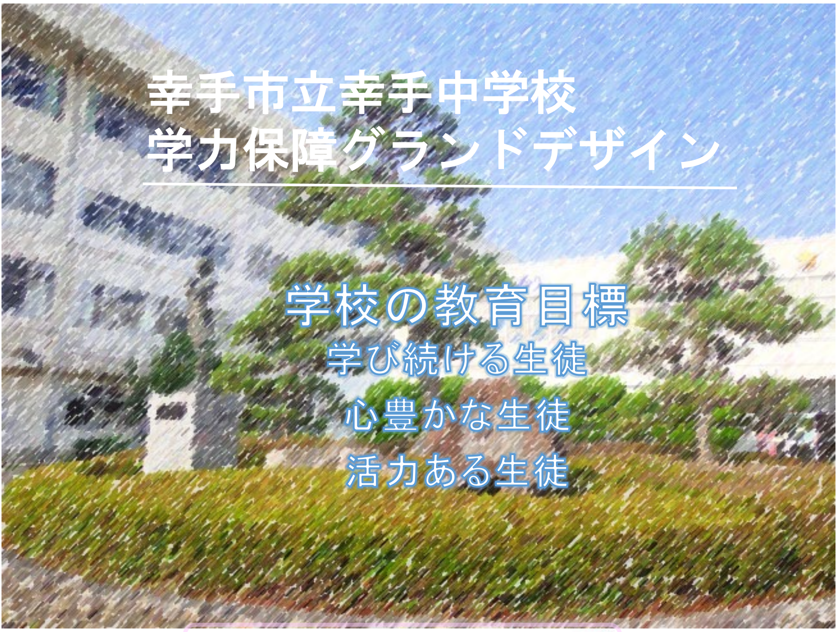

# 幸手市立幸手中学校
# 学力保障グランドデザイン

## 学校の教育目標

学び続ける生徒
心豊かな生徒
活力ある生徒

## 学校研修課題

人としての生き方についての理解を深め、
よりよく生きようとする生徒の育成

## 本年度の重点

1　問題から課題を見いだし、その解決に向かって努力する力
2　お互いのよさを生かし、集団活動を通して人間として共に生きる力
3　ICTを活用する力や学習内容を理解する力、整理、暗記して活用できる力

## 目標達成の指針

1　全国学力・学習状況調査
2　埼玉県学力・学習状況調査
3　幸手市統一学力調査
4　家庭学習時間の数値目標・継続目標
5　家庭学習でのワンドライブ利用目標

# 自ら課題を求め、目標に向かって進んで努力する生徒を育みます。

## 学校の共通行動

### ✿ 授業を最大限生かす態度の育成

「チャイム着席」「あいさつ」「授業態度」について、授業者が評価し、前向きに学ぶ姿勢を育みます。

### ✿ しっとりとした学び舎の継承

『幸手中生の一日』から規則正しく生活することの大切さや教科の学び方を生徒・保護者に周知し、教職員一丸となってメリハリのきいたうるおいのある学び舎を創造します。

### ✿ 生徒との継続的なコミュニケーション

日々の生活記録ノートや各種アンケートから生徒の実態把握に努め、個別最適な学びを応援していきます。

### ✿ 生徒指導・教育相談体制の充実

よりよく生きようとする生徒の自己教育力を高めるとともに、全教職員で生徒の健全な成長を温かく支援します。

## 確かな授業実践

### ✿ 幸手スタンダード授業５の徹底

導入から終末までを見通し、幸手スタンダード授業５に沿った授業展開をベースに個別最適化された学び方の定着を図ります。

### ✿ 各教科等の「見方・考え方」の重視

「何を学ぶか」だけでなく「何のために学ぶか」といった学ぶ目的を生徒に考えさせ、学習のゴールまでを見通した魅力的な授業を展開します。

### ✿ 自分を見つめ、自己認知を深化

非認知能力を高め、「何を何のために学ぶのか」「協働的な学び」「自己の学びの展望と調整力の育成」を目指し、振り返りの時間を授業ごとに確実に設定します。

### ✿ 学び合って教職員の授業力向上

互いに授業を公開し、教科等部会で話し合う機会を確保することで、教職員の指導力向上を図ります。

## 授業外での取組

### ✿ 基礎学力テストの実施と「たちばな賞」授与

各学年ごとに基礎学力テストを計画的に実施し、成績優秀者には賞状を出すことで自信につなげています。「たちばな賞」は、学期に一度優秀生徒を各学級から選出します。

### ✿ 幸手中キャリアアップガイドラインの活用

３年間で自分の成長が実感できるように、自分探しや自分磨きを支援し、なりたい自分を模索しながら夢や目標を追い求めることで生き方教育の充実を図ります。

### ✿ 幸手市リーディングＤＸスクール事業の推進

文部科学省の指定校として、情報端末を効果的に活用し、自学自習を目指した個別最適な学びと協働的な学びの実現を図ります。さらにＤＣ教育を進め社会の良き使い手としての家庭・地域にも発信する力を身につけさせます。

## 家庭・学校間連携

### ✿ 家庭学習の習慣化

「幸手・学びのススメ１０か条」を活用し、継続的な家庭学習の習慣化に努めます。「習慣は第二の天性です。」

### ✿ ３年間を通したキャリア学習・進路学習

道徳科や学級活動で継続的に生き方学習を行います。また、進路学習会や上級学校説明会を実施します。マナー講座で大人への橋渡しも行います。

### ✿ 小中連携で人間力育成、進路学習は中高連携

道徳教育・授業改善・ＬＤＸについて幸手中学校区で小中連携を図ります。さらに幸手桜、宮代、久喜工業、杉戸、杉戸農業各高校と連絡会議を開催する他、多くの高校からのアドバイスをいただきます。